# 平成２８年度
# 事 業 報 告 書

平成２８年４月　１日から
平成２９年３月３１日まで

公益財団法人龍ケ崎市まちづくり・文化財団

# 目　　次

◆法人概要◆ ..... 2
1　設立年月日 ..... 2
2　主たる事務所 ..... 2
3　定款に定める目的 ..... 2
4　定款に定める事業内容 ..... 2
5　基本財産の状況 ..... 2

◆事業概要◆ ..... 3

◆財団の事業体系◆ ..... 3

◆事業実施状況◆ ..... 4
＜公益目的事業１　文化推進事業＞ ..... 4
1　まちづくりのための調査，研究，情報提供及び普及啓発（第４条第１号関係） 4
2　文化及び芸術の振興に関する事業（第４条第２号関係） ..... 13
3　地域文化活動の育成及び支援に関する事業（第４条第３号関係） ..... 15
4　公共施設等を活用したまちづくりの推進に関する事業（第４条第６号関係） .. 18
＜公益目的事業２　地域交流活性化事業＞ ..... 19
1　地域交流及びコミュニティの活性化に関する事業（第４条第４号関係） ..... 19
2　公共施設等を活用したまちづくりの推進に関する事業（第４条第６号関係） .. 23
＜公益目的事業３　地域振興活性化事業＞ ..... 24
1　農業及び地域産業の振興に関する事業（第４条第５号関係） ..... 24
2　農地利用集積及び農作業受委託推進に関する事業（第４条第８号関係） ..... 25
＜収益事業１　不動産事業＞ ..... 26
1　まちづくりに必要な用地の取得，造成，管理，処分及び斡旋並びに建築物の取得，建設，管理及び処分（第４条第７号関係） ..... 26
＜収益事業２　公益目的外貸与事業等＞ ..... 27
1　その他この法人の目的を達成するために必要な事業（第４条第９号関係） ..... 27

◆法人管理状況の内容◆ ..... 27
（１）理事会 ..... 27
（２）評議員会 ..... 28
（３）決算監査 ..... 28
（４）行政庁（茨城県）への届出 ..... 29
（５）その他 ..... 29

# 平成２８年度　事業報告

（平成２８年４月１日から平成２９年３月３１日まで）

## ◆法人概要◆

### １　設立年月日

昭和３５年１２月１０日　設立
平成２３年　４月　１日　法人合併
（合併により名称を財団法人龍ケ崎市まちづくり・文化財団に変更）
平成２５年　４月　１日　公益財団法人へ移行
（名称を公益財団法人龍ケ崎市まちづくり・文化財団に変更）

### ２　主たる事務所

所在地　：　茨城県龍ケ崎市板橋町４４０番地

### ３　定款に定める目的

この法人は，誰もが活力あふれ健康で心豊かに暮らせるまちづくりを推進するため，龍ケ崎市との緊密な連携を図り，諸産業の振興及び文化的な活動を通じた文化振興等を総合したまちづくりに関する事業を行い，もって地域社会の発展と市民生活の向上に寄与することを目的とする。

### ４　定款に定める事業内容

（１）まちづくりのための調査，研究，情報提供及び普及啓発
（２）文化及び芸術の振興に関する事業
（３）地域文化活動の育成及び支援に関する事業
（４）地域交流及びコミュニティの活性化に関する事業
（５）農業及び地域産業の振興に関する事業
（６）公共施設等を活用したまちづくりの推進に関する事業
（７）まちづくりに必要な用地の取得，造成，管理，処分及び斡旋並びに建築物の取得，建設，管理及び処分
（８）農地利用集積及び農作業受委託推進に関する事業
（９）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### ５　基本財産の状況

| 財　産　種　別 | 場所・物量等 |
|---|---|
| 定期預金 | 常陽銀行竜崎支店<br>６８，１６６，０００円 |

## ◆事業概要◆

当財団の事業運営にあたっては，公益財団法人としてさらなる公益性の向上を目指した事業の拡充を図り，誰もが活力あふれ心豊かに暮らせるまちづくりを推進し，地域社会の発展と市民生活の向上に寄与するため，自主的，自立的に持続可能な経営基盤の構築を図るため，各種公益事業等を実施した。

組織面においては，法人合併後，初となる正職員の採用を行い永続的に事業活動を実施できるよう組織力の強化を図るとともに，職員の資質向上に向けて外部講師を招くなど，職員研修等の充実に努めた。

決算状況については，公益認定に必要な収支相償，公益目的事業比率，遊休財産保有制限ともにクリアし財務基準は適正化することができた。財政状況については，各施設において体験教室等の事業を展開し公益目的事業の拡大に推進したが，龍ケ崎市から補助金による財政的支援を受けての運営に変わりなく，引き続き委託契約の見直しや経費節減等に努めた。

## ◆財団の事業体系◆

**公益目的事業１**
（文化推進事業）

- まちづくりのための調査，研究，情報提供及び普及啓発（第４条第１号関係）
  - ・常設展示及び企画展・収蔵品展の開催
  - ・普及事業
  - ・文化活動の推進及び支援事業等
- 文化及び芸術の振興に関する事業（第４条第２号関係）
  - ・鑑賞・招聘型事業
- 地域文化活動の育成及び支援に関する事業（第４条第３号関係）
  - ・文化団体と共催事業
  - ・地域文化活動の支援
- 公共施設等を活用したまちづくりの推進に関する事業（第４条第６号関係）
  - ・龍ケ崎市文化会館の管理運営
  - ・龍ケ崎市歴史民俗資料館の管理運営

**公益目的事業２**
（地域交流活性化事業）

- 地域交流及びコミュニティの活性化に関する事業（第４条第４号関係）
  - ・体験教室事業
  - ・地域交流事業
- 公共施設等を活用したまちづくりの推進に関する事業（第４条第６号関係）
  - ・龍ケ崎市農業公園豊作村の管理運営
  - ・龍ケ崎市龍ケ岡市民農園の管理運営
  - ・湯ったり館の管理運営

公益目的事業３
（地域振興活性化事業）

農業及び地域産業等の振興に関する事業
（第４条第５号関係）

・農業担い手育成事業
・農業ヘルパー事業
・地元物産品，農産物のＰＲ等

農地利用集積及び農作業受委託推進に関する事業（第４条第８号関係）

・農地利用集積円滑化事業
・旧農地保有合理化事業等
・農地中間管理事業
・農作業受委託事業

収益事業１
（不動産事業）

その他この法人の目的を達成するために必要な事業（第４条第９号関係）

・駐車場８カ所の管理運営

収益事業２
（公益目的外貸与事業等）

その他この法人の目的を達成するために必要な事業（第４条第９号関係）

## ◆事業実施状況◆

**＜公益目的事業１　文化推進事業＞**

### １　まちづくりのための調査，研究，情報提供及び普及啓発（第４条第１号関係）

龍ケ崎市のまちづくりを展望するとき，これまでの地域の発展経過を知る歴史や文化，先人の生活を知る資料は欠く事のできないものであり，これらの資料を収集・発掘し，歴史と民俗の調査研究を行い，その成果を情報提供して展示や普及活動等を行い，市民の郷土理解を深めかつ知識の高揚を図り，龍ケ崎の新しいまちづくりの意識啓発を図った。

（１）常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

| １　常設展示 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 展示期間 | ４月１日～３月３１日 | | | | |
| 日　　数 | ３０８日 | 入館者数 | ３１,６６４人 | １日平均 | １０３人 |
| 展示場所 | 歴史民俗資料館　常設展示室，エントランス，屋外 | | | | |
| 展示テーマ | 龍ケ崎の歴史と民俗 | | | | |
| 内　　容 | 時系列的に龍ケ崎の歴史を展示したものと人々のくらしとして民具，調度品のほか年中行事等について展示。<br>エントランスホールには，国選択・県指定無形民俗文化財の撞舞の４分の１模型と視聴覚資料「龍ケ崎の水とくらし」等を展示上映。<br>屋外では，納屋を模した建築物に田舟や水稲栽培に用いた農具，商店を模した建物には，たばこや駄菓子ケース等を展示。 | | | | |
| ２　ボランティア作品展「布れあい染織展」 | | | | | |
| 開催期間 | ４月２０日（水）～５月５日（木） | | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 日　　数 | １４日 | 入館者数 | １,３４５人 | |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　企画展示室 | | | |
| 内　　容 | 体験学習で協働しているボランティアの染色と機織り活動の発表の場として作品を展示。資料館ボランティアと共催 | | | |
| ３　収蔵品展「大正・昭和新聞広告展」 | | | | |
| 開催期間 | ５月２８日（土）～６月２６日（日） | | | |
| 日　　数 | ２６日 | 入館者数 | ２,４７３人 | |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　企画展示室 | | | |
| 内　　容 | 大正から昭和時代に発行された新聞に掲載された化粧品や食品，電化製品，自家用車などの広告をとおして，生活様式や物欲の変化，流行を紹介した。 | | | |
| ４　非核平和記念「長崎原爆被災写真展」 | | | | |
| 開催期間 | ７月１日（金）～７月２４日（日） | | | |
| 日　　数 | ２１日 | 入館者数 | ２,５２４人 | |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　企画展示室 | | | |
| 内　　容 | 戦争体験を次世代に継承し，平和に対する意識の高揚を目的に市人事行政課と共催で実施。長崎の原爆被災の恐ろしさと惨さを伝えた。また，会場に鶴を折るコーナーを設け，平和祈念式に派遣される中学生が持参した。 | | | |
| ５　写真展「関東鉄道竜ケ崎線　－龍崎鉄道・鹿島参宮鉄道竜ケ崎線－」 | | | | |
| 開催期間 | ８月２日（火）～１０月２日（日） | | | |
| 日　　数 | ５４日 | 入館者数 | ６,９４５人 | |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　企画展示室 | | | |
| 内　　容 | ㈱ネコ・パブリッシングが発行した『竜ケ崎線写真集』に掲載された昭和期のＳＬの走る風景や駅舎などの貴重な写真をパネル展示し，龍ケ崎市の交通史の一端を紹介した。展示期間中は県外からも多くの鉄道ファンが訪れた。 | | | |
| ６　郷土作家展「岡田清一展」 | | | | |
| 開催期間 | １０月２９日（土）～１１月１３日（日） | | | |
| 日　　数 | １４日 | 入館者数 | １，３８３人 | |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　企画展示室　多目的室　体験学習室 | | | |
| 内　　容 | ＮＨＫ教育ＴＶ美術担当講師，日本美術教育連合理事長など，美術教育の第一線で活躍する一方で，般若院のしだれ桜や牛久沼，小貝川などふる里の風景を描いた龍ケ崎市出身の岡田清一氏の油彩作品を展示した。 | | | |
| ７　龍ケ崎ニュータウンの発掘遺物展 | | | | |
| 開催期間 | １１月２５日（金）～１２月１８日（日） | | | |
| 日　　数 | ２１日 | 入館者数 | １,５１１人 | |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　企画展示室 | | | |
| 内　　容 | 生涯学習課主催で，ニュータウン開発時の発掘作業で発見された土器や石器など，常設展には展示されていない考古資料を紹介した。 | | | |
| ８　テーマ展　「昔のあたたまる道具・絵本に見る昔のくらし」 | | | | |
| 開催期間 | １月１４日（土）～２月１０日（金） | | | |
| 日　　数 | ２４日 | 入館者数 | ２,９３２人 | |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　企画展示室 | | | |
| 内　　容 | 小学校３年生の社会科『古い道具と昔のくらし』の見学学習の時期に合わせ，火鉢などの昔の暖房道具と昭和期の生活風景が描かれた絵本を展示し，解説を交えて学習支援を行った。 | | | |
| ９　企画展「藍　あざやかに」 | | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 開催期間 | ２月１８日（土）～３月３１日（金） | | | |
| 日　　数 | ３６日 | 入館者数 | ３,２３２人 | |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　企画展示室 | | | |
| 内　　容 | 日本の代表的な染料として，衣料や祭礼に係わり深い藍について，裃や印半纏，幟などの収蔵品や様々な染色方法と作品を展示した。また，江戸時代の龍ケ崎で高い藍染技法を習得した松田楽平の功績を紹介した。 | | | |

（２）普及事業の実施

| | |
|---|---|
| １　歴史講座「明智と沼田土岐氏　－光秀の出自を探る－」 | |
| 開 催 日 | ５月１５日（日） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　多目的室 |
| 入場者数 | ５４名 |
| 講　　師 | 盛本昌広氏 |
| 内　　容 | 美濃国を本国として，戦国時代の龍ケ崎地方も治めた土岐氏の庶流の中から，本能寺の変を起こした明智光秀と江戸時代末期まで大名として存続した上州沼田土岐氏について講演していただいた。 |
| ２　歴史講座「真田氏の戦い」 | |
| 開 催 日 | ①７月１７日（日）　　②９月１８日（日） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　多目的室 |
| 入場者数 | ①５４名　②４３名　延べ９７名 |
| 講　　師 | 盛本昌広氏 |
| 内　　容 | 真田三代の戦いを川中島の合戦に始まる前編と，真田昌幸・信繁親子と兄信之が分れて戦った関ヶ原の合戦から大阪の陣までを後編とした２回継続で講演していただいた。 |
| ３　記念講演会「龍ケ崎市の交通史　－関東鉄道竜ケ崎線を中心に－」 | |
| 開 催 日 | ９月２５日（日） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　多目的室 |
| 入場者数 | ５１名 |
| 講　　師 | 白土貞夫氏 |
| 内　　容 | 写真展「関東鉄道竜ケ崎線」の関連事業として，常磐線の開業から龍ケ崎鉄道，佐貫駅建設の経緯と，それに伴う鉄道忌避伝説などについて，鉄道史学会会員である講師に講演していただいた。 |
| ４　記念講演会「今によみがえる水戸黒」 | |
| 開 催 日 | ３月２６日（日） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　多目的室 |
| 入場者数 | ５２名 |
| 講　　師 | 大川哲氏 |
| 内　　容 | 企画展「藍あざやかに」の関連事業として，江戸時代に水戸藩専属の職人によって染められていた「水戸黒」と呼ばれる独特の藍染技術について，その沿革と復活への取り組みを講演していただいた。 |
| ５　古文書講座　「近世古文書を読む」①上級コース，②初級コース | |
| 開催回数 | ①上級コース　１２回，②初級コース　９回 |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　多目的室 |
| 受講者数 | ①延べ２６１名，②延べ１９９名，合計延べ４６０名 |
| 講　　師 | ①盛本昌広氏　②古文書同好会員 |
| 内　　容 | 寄贈・寄託の近世史料をテキストに用い，くずし文字の解読方法を指導，歴史用語や時代背景を解説。 |

| | |
|---|---|
| ６　歴史散歩 | |
| 開 催 日 | ①５月２２日（日）　②１１月２３日（水）　③３月８日（水） |
| 見学コース | ①牛久沼排水機場～川原代方面<br>（決壊口の碑，八間堀，香取神社，安楽寺など）<br>② 龍ケ崎コミュニティセンター～にぎわい広場<br>（龍ケ崎城跡，医王院，小野瀬邸，八坂神社など）<br>③北竜台公園～女化神社<br>（蛇沼公園，明治天皇駐蹕の碑，女化神社など） |
| 参加者数 | ①１２名　②１４名　③３０名　合計５６名 |
| 内　　容 | 郷土を再発見する目的で，市内の旧所名跡沿いにコースを設定し，周辺の遺跡，神社仏閣等を見学しながら歴史的背景を解説した。１回目は，市指定文化財に登録された伝平国香供養塔の周辺史跡など，２回目は，いがっぺ市開催日に商店街沿いの寺院などを巡り，街の賑わいも味わっていただいた。３回目は，蛇沼や女化神社の伝説を解説しながら初午祭へ案内した。 |
| ７　博物館見学会 | |
| 開 催 日 | ①９月１６日（金），②１０月７日（金） |
| 見学場所 | 川越市立博物館・蔵造りの町並（埼玉県） |
| 参加者数 | ①３０名　②２９名　合計５９名 |
| 内　　容 | 資料館活動への更なる理解を深める目的で，近隣の施設や文化財を見学した。 |
| ８　れきみんシアター | |
| 開催日時 | 毎週土曜日 |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　多目的室 |
| 参加者数 | 延べ３００名 |
| 内　　容 | 幼児，小学生とその親子を対象に，「まんが日本昔話」を上映し，アニメを通して昔話を伝え，楽しんでいただいた。 |
| ９　歴民まつり | |
| 開催日時 | ８月２０日（土） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　全館 |
| 内　　容 | 資料館が実施してきた体験学習教室や普及事業など一堂に集め，夏休みのひと時を資料館で楽しんでもらう目的で開催。入館者数は，１，２１９名で過去最高となった。<br>①「簡単藍染め体験」，②「機織り体験」，③「綿繰り体験」，<br>④「竹細工教室」，⑤「昔の遊び体験」，⑥「昔の道具体験」，<br>⑦「駄菓子屋 猫の手」，⑧「かき氷販売」，⑨「昔のオルガン演奏」他 |
| １０　駄菓子屋 | |
| 開催日時 | ８月１９（金）・２０（土），１０月１６日（日） |
| 開催場所 | 屋外展示場 |
| 内　　容 | 夏休みの子供や親子連れ向けのイベントとして，ボランティアグループ「猫の手」の協力で８月に２日間，１０月のふれあい広場では資料館ボランテイアの協力で開催。昭和レトロな懐かしい雰囲気と縁日的な楽しさを提供した。 |
| １１　学習支援会 | |
| 開催日時 | ①８月１１日（木），②８月１８日（木） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　エントランス |
| 参加者数 | 合計６名 |
| 内　　容 | 小学３年生を対象にした生涯学習課スタンプラリーのポイントから「愛宕 |

| | |
|---|---|
| | 神社」,「般若院」を選び，夏休みの自由研究の資料になるよう解説シートや写真資料を提供し，説明を行った。テーマは他に「撞舞」など５つを用意した。 |

（３） 体験学習教室の実施

| | |
|---|---|
| １　わら草履作り教室 | |
| 開 催 日 | ①８月６日（土），②１７日（水） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室，屋外 |
| 参加者数 | ①１０名　②１０名　合計２０名 |
| 講　　師 | 職員，資料館ボランティア |
| 内　　容 | 稲作の副産物で，現在は触れることが少なくなった藁を用い，技術の伝承と先人の知恵を学ぶ。 |
| ２　注連飾り作り教室 | |
| 開 催 日 | ①１２月９日（金），②１４日（水），③１８日（日） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室，屋外 |
| 参加者数 | ①６名，②６名，③９名，合計２１名 |
| 講　　師 | 職員，資料館ボランティア |
| 内　　容 | 正月準備として作られる，注連飾りの由来を学び，製作技術を伝承した。 |
| ３　春の草木染め教室 | |
| 開 催 日 | ①５月１９日（木）・２０日（金），②５月２８日（土）・２９日（日），③７月１日（金），④７月３日（日） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室，屋外 |
| 参加者数 | ①９名　②１２名　③１２名　④１２名　合計４５名 |
| 講　　師 | 職員，資料館ボランティア |
| 内　　容 | さくら等の身近な春の植物を用いて，伝統的な染色方法を学ぶ。<br>染色植物…①②さくら，③④くず |
| ４　藍の生葉染め教室 | |
| 開 催 日 | ①８月５日（金）　②８月７日（日） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室，屋外 |
| 参加者数 | ①１２名　②１２名　合計２４名 |
| 講　　師 | 職員，資料館ボランティア |
| 内　　容 | 藍の持つ効能と簡易染色である生葉染めの方法を学ぶ。 |
| ５　秋の草木染め教室 | |
| 開 催 日 | ①９月２３日（金）　②９月２５日（日）　③１０月２１日（金）<br>④１０月２３日（日） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室，屋外 |
| 参加者数 | ①１０名　②１２名　③１０名　④１０名　合計４２名 |
| 講　　師 | 職員，資料館ボランティア |
| 内　　容 | すすき等の身近な秋の植物を用いて，伝統的な染色方法を学ぶ。<br>染色植物…①②すすき，③④藍（絞り染） |
| ６　てん刻入門教室 | |
| 開 催 日 | ３月１１日（土）・１８日（土） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室 |
| 参加者数 | ７名 |
| 講　　師 | 平本実氏・職員 |
| 内　　容 | マジック転写法を用いてオリジナルの印章を青田石に彫り製作する２回継続コース |

| | |
|---|---|
| ７　江戸型彫り教室 | |
| 開 催 日 | １２月１日（木） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室 |
| 参加者数 | １５名 |
| 講　　師 | 結城春雄氏 |
| 内　　容 | 手拭や浴衣を染める型紙（型彫り）の技術を応用して年賀状の文字や絵型を彫り，江戸文化の一端を学ぶ。 |
| ８　機織り伝承教室 | |
| 開 催 日 | 毎週火曜・木曜日（通年） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室，エントランスホール |
| 講　　師 | 資料館ボランティア |
| 対 象 者 | 資料館ボランティアの希望者 |
| 内　　容 | 高機の保存と併せて機織りの技術を習得し，その技術を永く伝承することを目的とする。また，館内で実演を行った。 |
| ９　機織り教室 | |
| 開 催 日 | ３月１４日（火）～３月３０日（木）　１０回 |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室，エントランスホール |
| 参加者数 | 合計３７名 |
| 講　　師 | 資料館ボランティア |
| 内　　容 | 龍ケ崎木綿への理解を促進し，技術伝承の一端を学ぶ。 |
| １０　簡単機織り教室 | |
| 開 催 日 | ①８月２０日（土）　②８月２８日（日）　③２月１１日（土） |
| 開催場所 | エントランスホール |
| 参加者数 | ①３０名　②５名　③６名 |
| 講　　師 | 職員，資料館ボランティア |
| 内　　容 | 不要になった布を素材に新たな織物を作る「裂き織」を体験し，先人のリサイクル技術を学ぶ。③は常陽小学生新聞の取材依頼で実施 |
| １１　折り紙教室　①七夕飾り，②扇鶴，③おひな様 | |
| 開 催 日 | ①６月１５日（水）　②１０月２日（日）　③２月１７日（金） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室，多目的室 |
| 参加者数 | ①１２名　②１２名　③１２名　合計３８名 |
| 講　　師 | 木村峰子氏 |
| 内　　容 | 季節に合わせて干支や年中行事などをテーマに，装飾性のある作品を折り，折り紙の魅力を伝えた。 |
| １２　お手玉作り教室 | |
| 開 催 日 | ２月２６日（日） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室 |
| 参加者数 | １３名 |
| 講　　師 | 資料館ボランティア |
| 内　　容 | 資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り，お手玉遊び・数え唄等を伝承し，昔の遊びに触れる。 |
| １３　竹細工教室 | |
| 開 催 日 | ８月２０日（土） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室 |
| 参加者数 | １２名 |
| 講　　師 | 金本典久氏 |
| 内　　容 | 竹とんぼや竹鉄砲，笛など，竹を用いた玩具を親子で協力して作り，昔の |

| | |
|---|---|
| | 遊びを伝承した。 |
| １４　龍ケ崎とんび凧作り講座・教室 | |
| 開 催 日 | 講座　３回　１１月３０日（水），１２月２日（金）・７日（水）<br>教室　①８月２７日（土）②１２月３日（土） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室 |
| 参加者数 | 講座　５名<br>教室　①１０名　②４名　合計１４名 |
| 講　　師 | 龍ケ崎とんび凧研究会 |
| 内　　容 | 市民遺産に認定された「龍ケ崎とんび凧」を作り，凧揚げ大会への参加をとおして，失われつつある凧揚げの楽しさを伝承した。骨組みの削り出しから行う３回講座と，親子対象のやさしい教室の２コースを設定した。 |
| １５　御殿まり教室 | |
| 開 催 日 | ２月１９日（日） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　多目的室 |
| 参加者数 | ２２名 |
| 講　　師 | 青山浩子氏 |
| 内　　容 | 日本の郷土玩具として知られる御殿まりを小さなストラップ型にアレンジして作り，伝統的な刺繍や製作を楽しんでいただいた。 |
| １６　織ビーズ教室 | |
| 開 催 日 | ①１月２８日（土）　②２月１９日（日） |
| 開催場所 | 歴史民俗資料館　体験学習室 |
| 参加者数 | １３名 |
| 講　　師 | 東郷和子氏 |
| 内　　容 | ビーズ織機を用いて，オリジナルのペンダントを製作していただいた。 |

（４） 文化活動の推進及び支援

| | |
|---|---|
| １　常陽小学生新聞『昔の道具と暮らし』に寄稿 | |
| 内　　容 | 当館が所蔵する昔の道具の写真と解説文を毎月寄稿し，子供たちに歴史への関心を促すとともに，館のＰＲを図った。 |
| タイトル | ①算盤　②石板　③和傘　④ハエとりビン　⑤夏休みの宿題<br>⑥銭箱　⑦鰹節削り器　⑧とんび凧　⑨どてら　⑩豆炭行火　⑪綿繰機 |
| ２　資料閲覧及びレファレンス | |
| 期　　間 | 通年 |
| 場　　所 | 歴史民俗資料館　図書研究室，事務室 |
| 利用資料 | 【閲覧資料・図書】<br>埋蔵文化財調査報告書（屋代Ｂ遺跡）神田明神祭礼絵巻（写真）<br>【貸出資料】<br>絵本原画画像（牛になった小坊主，狐の恩返し，河童松）<br>竜ケ崎線写真パネル，山崎家目録，綿繰り機，篆刻用具<br>【特別利用資料】<br>萬朝報記事，大正期婦人雑誌，北相馬郡志，馴馬小学校写真，<br>やっこ凧版木，とんび凧，神田明神祭礼絵巻画像，４号機関車写真<br>【出版掲載許可資料】<br>撞舞の面の写真（国立民族学博物館）<br>常設展昔の道具写真（牛久市教育委員会「私たちの牛久」）<br>仙台領柱写真（随想舎「隠れキリシタンと政宗」）<br>米町商店街外写真（ＮＰＯ法人快適な街づくり協会） |
| ３　展示及び郷土史解説 | |

| | |
|---|---|
| 場　　所 | 歴史民俗資料館　展示室，依頼場所 |
| 対 象 者 | 希望団体 |
| 内　　容 | 小中学校及び市民グループの依頼による展示解説を行い，龍ケ崎市のハートフル講座に登録し，市民団体やグループに郷土史解説の講演を行った。<br>【郷土史解説】<br>久保台小学校区わくわく協議会，ＮＰＯ法人龍ケ崎駅前コムハウス，<br>市職員研修会，八原小学校，北文間小学校，<br>流通経済大学国際観光学科，印西歴史愛好会<br>【展示解説】<br>流通経済大学，市新採職員，常総行友会，成田市文化財保護審議会，<br>印西歴史愛好会，初石観光 |
| ４　小学校見学学習支援 | |
| 期　　間 | １月１７日（火）～３月７日（火） |
| 場　　所 | 歴史民俗資料館　展示室，多目的室，エントランスホール |
| 対 象 者 | 市内，近隣の小学校３年生 |
| 参 加 校 | 龍ケ崎市立小学校（龍ケ崎，西，八原，大宮，川原代，北文間，馴柴，馴馬台，松葉，城ノ内）<br>阿見町立小学校（阿見，第二，実穀，本郷）<br>牛久市立小学校（牛久，第二，神谷，ひたち野うしく，向台，中根,）<br>取手市立小学校（久賀，戸頭）河内町生板小学校，美浦大谷小学校<br>計２４校　１，７４４名 |
| 内　　容 | 小学校３年生の社会科『古い道具と昔のくらし』の学習内容に合わせ，資料館で展示，収蔵する昔の道具の解説，ビデオ視聴，ボランティアの協力による綿繰などの道具体験を提供し，授業への興味と理解を促した。<br>市内小学校は，見学予約が取りやすいように優先的な受付と市バスの手配を併せて行った。 |
| ５　学芸員実習生の受入 | |
| 期　　間 | ８月１６日（火）～８月２３日（火）　７日間 |
| 場　　所 | 歴史民俗資料館 |
| 対 象 者 | 希望する龍ケ崎市在住，出身者及び近隣市町村在住者 |
| 内　　容 | 各大学の依頼があり，次世代の学芸員を養成する目的で実習生の指導を行った。<br>【受入れ実習生数】２名<br>（東洋大学，筑波大学） |
| ６　職場体験の受け入れ | |
| 期　　間 | １１月１０日(木)・１１日(金)　２日間 |
| 場　　所 | 歴史民俗資料館 |
| 対 象 者 | 希望する龍ケ崎市内の中学生 |
| 内　　容 | 愛宕中学校より２名の希望があり，将来の職業観育成を目的に資料館の業務を体験していただいた。 |
| ７　ボランティア活動の推進及び支援 | |
| 期　　間 | 通年 |
| 場　　所 | 歴史民俗資料館 |
| 対 象 者 | 希望する龍ケ崎市在住，出身者及び近隣市町村在住者 |
| 内　　容 | 資料館や関連事業を市民や来館者に，より身近な生涯学習の場として，親しむことができる人材を育成し，ボランティアが参画する事業を推進した。<br>【育成及び協働団体】 |

| | |
|---|---|
| | 資料館ボランティア，龍ケ崎市古文書同好会<br>【協働団体】<br>ボランティアグループ「猫の手」 |

（５） 資料収集整理保存

| 1　資料の収集 | |
|---|---|
| 内　　容 | 資料館の設立目的に沿った郷土史料・民俗資料の収集を行う。あわせて，郷土史関係図書の充実を図るため自治体史，博物館発行図書の収集を行った。<br>【収集資料】（　）内は寄贈者<br>○下駄　１点（関野冨美子氏）○滑車　２点（高野重彦氏）<br>○汁物腕　９点（岡嶋伸生氏）　○剪定鋏　２点（山崎弘道氏）<br>○市制施行記念風呂敷　１点（小室禎男氏）<br>○小川芋銭扁額外　２点（串田武久氏）<br>○買受申込書外　３３点（島田雅子氏）<br>○来迎院多宝塔模型　１点（芳川晋氏）<br><br>【寄贈図書】（発行機関名）<br>（茨城県）茨城県，茨城県教育財団，茨城県立歴史館，茨城県近代美術館，土浦市立博物館，古河市歴史博物館，大洗町幕末と明治の博物館，神栖市歴史民俗資料館，稲敷市立歴史民俗資料館，取手市埋蔵文化財センター，常陽藝文センター外<br>（千葉県）国立歴史民俗博物館，千葉県立郷土博物館，千葉県文書館，柏市教育委員会，成田市教育委員会，佐倉市教育委員会，野田市教育委員会，八千代市立郷土資料館，野田市郷土博物館，印西市教育委員会，流山市立博物館，白井市郷土博物館外<br>（埼玉県）埼玉県歴史と民俗の博物館，朝霞市博物館外<br>（東京都）東京都江戸東京博物館，港区教育委員会，杉並区立郷土博物館，世田谷区立郷土資料館，港区立港郷土資料館，昭和館品川歴史館外<br>（神奈川県）横浜市歴史博物館，平塚市博物館，寒川町史編纂委員会，大磯町郷土資料館外<br>（その他）群馬県立歴史館，岩宿博物館，仙台市博物館，仙台市史編纂委員会外 |
| 2　映像アーカイブによる街づくり　フィルム収集 | |
| 内　　容 | 龍ケ崎市とＮＰＯ法人快適な街づくり協会との協働事業で，市内で撮影された古い８㎜や１６㎜フィルムを収集してＤＶＤ化，映像資料として記録・保存した。また，活動周知のため，収集した映像の上映会を２回実施した。<br>【収集フィルム】８㎜：７４本　　１６㎜：１本<br>【上映会】①　５月２１日（土）　参加者　５０名<br>②１１月２０日（日）　参加者　３８名 |
| 3　資料の整理・保存 | |
| 内　　容 | 市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い，郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続した。<br>また，資料保存として，収蔵資料及び展示資料の虫害，菌害を防止する燻蒸業務を行う指標とするため，環境モニタリング調査を６月～１０月 |

| | |
|---|---|
| | に実施した。 |
| ４　祭礼調査 | |
| 期　　間 | ７月１０日（日），７月１６日（土）～１９日（火），２４日（日） |
| 場所・名称 | 長沖新田町・八坂神社祇園祭 |
| 内　　容 | 市内で行われている祭礼や年中行事は，社会状況の変化により，形態の縮小や継続が危ぶまれている。そのため現状を調査し，映像や写真の記録に残し報告書を作成した。 |

## ２　文化及び芸術の振興に関する事業（第４条第２号関係）

文化及び芸術に触れ，心豊かな市民生活の実現を図るため，年齢階層を考慮しながら広範なジャンルにわたる芸術性の高い舞台作品を身近な場所で広く市民が鑑賞することができる機会を提供し，地域住民が健康で文化的な交流を深め，文化芸術に対する高揚を図り，文化の薫り高い活力ある地域社会を形成できるように企画実施した。

（１）鑑賞・招聘型事業

| | |
|---|---|
| １　名作映画会「妖怪ウォッチ」 | |
| 開催日時 | ４月１７日（日）　２回上映／1回目１０時００分／２回目１４時００分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 入場者数 | ５４６人 |
| 内　　容 | ゲームやようかい体操第一で大ブレークした「妖怪ウォッチ」の劇場版第２作目を上映した。 |
| ２　小林愛実ピアノコンチェルト　Ｎ響団友オーケストラ | |
| 開催日時 | ６月１１日（土）　開演１４時００分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 入場者数 | ５７７人 |
| 内　　容 | ショパン国際ピアノコンクール２０１５のファイナリストである，小林愛実を招聘し，Ｎ響団友オーケストラとの大編成でピアノコンチェルトを開催した。 |
| ３　映画上映会「サクラ花－桜花最期の特攻－」 | |
| 開催日時 | ８月７日（日）　上映時間１１時００分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 入場者数 | １５３人 |
| 内　　容 | 終戦直前の茨城県神之池基地（現在の鹿嶋市・神栖市）を舞台にした映画を上映した。<br>茨城県上映推進委員会，サクラプロジェクトとの共催事業 |
| ４　夏休み映画会「ドラえもん　新のび太の日本誕生」 | |
| 開催日時 | ８月１４日（日）　２回上映　１回目１０時００分／２回目１４時００分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 入場者数 | １，７１４人 |
| 内　　容 | 「ドラえもん」の映画シリーズとして，３月に公開された作品を上映した。 |
| ５　ＮＨＫ公開収録「歌う！ＳＨＯＷ学校」 | |
| 開催日時 | ８月２５日（木）　開演時間１８時３０分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 入場者数 | ９３５人 |

| | |
|---|---|
| 内　　容 | 歌手の五木ひろしを先生役に，若手歌手とお笑い芸人たちが，生演奏による実演を交えながら，笑いたっぷりの音楽バラエティー番組の公開収録を実施し，９月１７日（土）に放送された。<br>ＮＨＫ水戸放送局，龍ケ崎市との共催事業 |
| 6　みんなで楽しむオーケストラ | |
| 開催日時 | ９月３日（土）　開演時間１４時００分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 入場者数 | ９００人 |
| 内　　容 | いばらき文化芸術創造・発信事業として，東京室内管弦楽団を招聘し，ソリストとして龍ケ崎市出身の大谷朋を迎えて，子どもたちでも楽しめる本格的なオーケストラコンサートを実施した。<br>茨城県，龍ケ崎市との共催事業 |
| 7　研ナオコ　コンサート | |
| 開催日時 | １０月２２日（土）　開演１８時３０分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 入場者数 | １，１１４人 |
| 内　　容 | 研ナオコのデビュー４５周年記念となるコンサートを実施し，抜群の爆笑トークとしっとりと優しい歌声で聴衆を魅了した。<br>一般財団法人民主音楽協会との共催事業 |
| 8　ぬいぐるみミュージカル | |
| 開催日時 | １１月２７日（日）２回公演　１回目１１時００分／２回目１４時００分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 入場者数 | １，０８６人 |
| 内　　容 | 劇団銀河鉄道の作品で，日本むかしばなし「つるの恩返し」「なしとり兄弟」のミュージカルを実施し，日本の伝統をお話しと音楽で子どもたちに提供した。 |
| 9　森山良子コサート | |
| 開催日時 | １２月４日（日）　開演時間１７時００分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 入場者数 | １，１５０人 |
| 内　　容 | 森山良子のデビュー５０周年記念コンサートを実施し，デビュー曲から，ジャズ，ミュージカル，クラシックなど様々な角度から映し出される森山良子の５０年を堪能した。<br>労音東葛センターとの共催事業 |
| 10　ドラマチック・タンゴ「バンドネオンの匠」 | |
| 開催日時 | ３月７日（火）　開演時間１８時３０分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 入場者数 | ９２３人 |
| 内　　容 | アルゼンチンタンゴ界を代表するバンドネオン奏者，オラシオ・ロモが率いる楽団に，世界トップクラスのダンサーを交え，演奏・歌・ダンス三拍子揃った公演を開催した。<br>一般財団法人民主音楽協会との共催事業 |
| 11　大月みやこ＆田川寿美「美空ひばり物語」 | |
| 開催日時 | ３月１８日（土）　２回公演　１回目１１時００分／２回目１５時００分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |

| | |
|---|---|
| 入場者数 | １，０７５人 |
| 内　　容 | 美空ひばり生誕８０周年記念公演として，大月みやこと田川寿美による「美空ひばり物語」を実施し，多くのひばりファンを魅了した。<br>・１部は本人映像を交えた芝居仕立てのストーリー<br>・２部は二人のヒットパレード |
| 12　宝くじまちの音楽会 | |
| 開催日時 | ３月２４日（金）　開演時間１８時３０分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 入場者数 | ９８３人 |
| 内　　容 | 宝くじ文化公演事業の一環で，宝くじまちの音楽会「南こうせつ with ウー・ファン　心のうたコンサート」を実施した。この日のために編成した「宝くじまちの音楽会龍ケ崎市民合唱団」との共演もあり，会場一帯になり大盛況に終わった。<br>龍ケ崎市，（一財）自治総合センターとの共催事業 |

## ３　地域文化活動の育成及び支援に関する事業（第４条第３号関係）

市民や市民団体の地域文化活動をより一層の向上を図るため，各種市民団体と協働し，文化芸術活動の成果を発表する場所を提供した。さらには，各種講習会や伝統文化の継承の一助とする参加体験の事業を開催することで，郷土意識や連帯感が高まるとともに，その活動底辺の拡大を支援し育成を図り，広く市民が文化芸術を享受することができ，ひいては地域文化の振興に寄与した。

また，市民や市民団体の文化芸術活動の発表会等で容易に使用できるよう支援することで，文化芸術性を高めるとともに，まちづくりにおける文化の普及啓発に係る場所を提供した。

（１）文化団体と共催事業

| | |
|---|---|
| １　第１１回龍ケ崎市文化の祭典 | |
| 開催期間 | ５月１８日（水）～２９日（日） |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール，小ホール，ロビー |
| 来場者数 | ５，１９８人 |
| 内　　容 | ステージ事業（４事業）<br>○日本舞踊・新舞踊発表会<br>○吟詠・大正琴・民謡・日本民舞発表会<br>○洋舞発表会　○龍ケ崎市演奏会<br>展示事業（４事業）<br>○洋らん・盆栽展　○ウッドバーニング・篆刻・ちぎり絵展<br>○絵画・いけばな展<br>○写真・プラントドール・陶芸・短歌・川柳展<br>体験事業（３事業）<br>○茶会　○篆刻教室　○ウッドバーニング教室<br>主催　龍ケ崎市文化協会，龍ケ崎市音楽協会，龍ケ崎市まちづくり・文化財団<br>主管　龍ケ崎市文化の祭典運営委員会 |
| ２　第２５回龍ケ崎市民文化芸術フェスティバル | |
| 開催期間 | １０月２６日（水）～１１月２３日（水） |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール，小ホール，ロビー，ホワイエ<br>歴史民俗資料館　企画展示室，多目的室，体験学習室 |

| | |
|---|---|
| | 中央図書館　鑑賞室，ギャラリー |
| 来場者数 | １５，６５４人 |
| 内　　容 | ステージ事業（８事業）<br>○芸能祭　○レクリエーションまつり<br>○歌謡舞踊と小曲のつどい<br>○吟詠・津軽三味線・大正琴・民謡・日本民舞のつどい<br>○龍ケ崎市小・中学校音楽祭　○洋舞<br>○龍音祭Ⅰ　○龍音祭Ⅱ<br>展示事業（８事業）<br>○絵画・ちぎり絵・工芸美術展　○ウッドバーニング展・団体展示<br>○盆栽展　○写真展　○洋らん展　○いけばな展<br>○書道・俳句・短歌・川柳展　○篆刻・プラントドール展<br>体験事業（４事業）<br>○茶会　○篆刻の作り方教室　○テーブルフラワー教室<br>○いけばな体験教室<br>特別企画事業（４事業）<br>○龍ケ崎市小・中学校作品展　○幼稚園・保育園児絵画展<br>○郷土作家展「岡田清一」展<br>○特別企画事業「映画ポケットモンスター」<br>主催　龍ケ崎市まちづくり・文化財団<br>主管　龍ケ崎市民文化芸術フェスティバル運営委員会<br>協力　龍ケ崎市文化協会，龍ケ崎市音楽協会<br>　　龍ケ崎市レクリエーション協会 |
| ３　伝統芸能講習会（盆踊り講習会） | |
| 開催日時 | ７月２９日（金）１８時００分，８月６日（土）１８時００分 |
| 場　　所 | 文化会館　小ホール |
| 参加者数 | １００人 |
| 内　　容 | 盆踊でお馴染みの「龍ケ崎錦」「龍ケ崎カッパ踊り」などの舞踊を継承する盆踊り講習会を各保存会や市民団体との協働で実施した。 |
| ４　バンドやろうよ講習会 | |
| 開催期日 | ８月６日（土），７日（日），１３日（土），１４日（日），２１日（日） |
| 場　　所 | 文化会館　小ホール |
| 参加者数 | ３人 |
| 内　　容 | 市内小学６年生から中学３年生を対象として，ギター・ベース・ドラムの講習会を５日間に亘り開催し，その成果を龍ケ崎音楽祭で発表した。<br>なお，龍ケ崎音楽祭では子どもミュージカルのメンバーとの共演もあった。<br>講師／龍ケ崎市音楽協会 |
| ５　龍ぼん祭２０１６ | |
| 開催日時 | ８月２１日（日）　開会１８：００ |
| 場　　所 | 文化会館　駐車場 |
| 来場者数 | ２，０００人 |
| 内　　容 | 文化会館駐車場を会場にやぐらを設置し，盆踊りを開催。龍ケ崎コロッケ，焼きそばなどの屋台や金魚すくい，ヨーヨーすくいなどが出店し，雨天により１日順延となったが動員数は２，０００人に及んだ。<br>※８月２０日の予定が雨天により８月２１日に順延 |
| ６　体験学習教室（プラントドール　ワークショップ） | |

| | |
|---|---|
| 開催日時 | ９月１０日（土）　開催時間１４：００ |
| 場　　所 | 文化会館　小ホール |
| 参加者数 | ４０人 |
| 内　　容 | 市文化協会の加盟団体である，プラントドールの近さんの指導のもと，ワークショップを開催した。 |
| 7　癒し＆くつろぎ＆ミニコンサート | |
| 開催日時 | ９月２２日（木），２月１２日（日）　開演１４：００ |
| 場　　所 | 文化会館　小ホール |
| 入場者数 | ９月／１００人，２月／１５０人 |
| 内　　容 | 龍ケ崎市音楽協会員によるミニコンサートを開催した。<br>９月／ハーモニカ，ウクレレ<br>２月／ヴァイオリン，ピアノ，声楽<br>共催　龍ケ崎市音楽協会 |
| 8　お茶会＆お琴演奏会 | |
| 開催日時 | １０月２日（日）　開演１３：００ |
| 場　　所 | 文化会館　小ホール |
| 参加者数 | ８９人 |
| 内　　容 | 琴の演奏を聴きながらお茶会を開催した。中庭にて開催予定であったが芝のコンディション不良により小ホールで実施した。<br>共催　龍ケ崎市文化協会，龍ケ崎市音楽協会 |
| 9　ふれ愛広場２０１６　映画上映会 | |
| 開催日時 | １０月１６日（日）上映時間１１：３０ |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 来場者数 | １５０人 |
| 内　　容 | 龍ケ崎市社会福祉協議会主催のふれ愛広場において，映画ハローキティを上映した。<br>龍ケ崎市社会福祉協議会公演事業 |
| 10　体験学習教室（音響ワークショップ） | |
| 開催日時 | １１月１９日（土）　開催時間９：３０ |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 参加者数 | ３０人 |
| 内　　容 | 龍音祭開催に併せ，音響機材を用いて実際に音を出す操作等を体験するワークショップを開催した。<br>共催　龍ケ崎市音楽協会 |
| 11　第８回高齢者いきいき健康マージャン交流大会 | |
| 開催日時 | ３月１１日（土）　開会１０：２０ |
| 場　　所 | 文化会館　小ホール |
| 参加者数 | ９６人 |
| 内　　容 | ねんりんピック秋田２０１７の県代表選考会を兼ねた交流大会を開催，総得点の上位４人が代表に選ばれた。<br>主催　茨城県，茨城県社会福祉協議会，龍ケ崎市まちづくり・文化財団<br>主管　日本健康麻将協会茨城県南支部（NPO あすなろ市民福祉会内） |
| 12　創造展（ちぎり絵展） | |
| 開催日時 | ３月１５日（水）～３月１９日（日）５日間　開催時間９時～１７時 |
| 場　　所 | 文化会館　ロビー |
| 来場者数 | １，４４１人 |
| 内　　容 | 龍ケ崎市文化協会加盟団体である，しゅんこう和紙ちぎり絵の作品による |

| | |
|---|---|
| | 展示会を開催した。最終日には代表の皆川さん指導のもと，ワークショップを開催し，１９人の市民が参加した。 |

（２） 地域文化活動の支援

| | |
|---|---|
| １　ひとりの演奏会 | |
| 開催期日 | ５月１日（日），３日（火），４日（水） |
| 場　　所 | 文化会館　大ホール |
| 参加者数 | ２４人 |
| 内　　容 | 市内在住･在勤･在学の個人を対象として，大ホールのグランドピアノ（スタインウェイＤ２７４）を演奏する機会を１人１時間で提供した。 |
| ２　バックステージツアー２０１６ | |
| 開催日時 | ８月１３日（土）　１０時００分 |
| 場　　所 | 文化会館　大ホールほか |
| 参加者数 | １０人 |
| 内　　容 | 小学４年生以上を対象に，舞台・音響・照明の仕組みや楽屋裏を見学し，実際に舞台装置を操作する体験学習を実施した。 |
| ３　美術館見学会 | |
| 開催期日 | ９月３０日（金） |
| 場　　所 | 千葉市　ホキ美術館 |
| 参加者数 | ３７人 |
| 内　　容 | 市民の美術に関する興味を高める機会を提供するため，市のバスを利用して，千葉市にあるホキ美術館を見学した。 |
| ４　文化団体育成事業 | |
| 内　　容 | 文化活動団体の育成・支援事業として，団体が活動する場所を容易に使用出来るよう，次の２事業の施設の優先貸出しを実施した。<br>①団体名　龍ケ崎市文化協会（盆栽部）<br>会　場　文化会館　小ホール<br>開催日　６月４日（土），５日（日）<br>目　的　春季盆栽展<br>②団体名　龍ケ崎市文化協会（竜ヶ崎子どもミュージカル）<br>会　場　文化会館　大ホールほか<br>開催日　６月２６日（日）<br>目　的　竜ヶ崎子どもミュージカル第１２回公演 |
| ５　貸し館業務 | |
| 内　　容 | 市民が展開する大・小ホールを使用するにあたっての支援<br>平成２８年度実績<br>○ 市民による文化活動，音楽発表会等　６５件<br>○ 学校関係の文化行事等　９１件<br>○ 官公庁関係の行事等　１２０件 |

## ４　公共施設等を活用したまちづくりの推進に関する事業（第４条第６号関係）

文化会館の管理運営は，「地域社会の芸術文化の向上を図ること」を目的とするため，不特定多数の利用者の利便性の向上，まちづくりにおける芸術文化の振興，文化の普及啓発に努めた。また歴史民俗資料館の管理運営は，「龍ケ崎市に係る考古，歴史及び民俗等の資料の収集，保存及び展示等により郷土の歴史と文化に対する市民の知識と理解を深め，文化の振興を図ること」を目的とするため，不特定多数の利用者の利便性の向

上，まちづくりにおける文化芸術の振興，郷土の歴史と文化の普及啓発に努めた。

| １　龍ケ崎市文化会館 | |
|---|---|
| 実　績 | 大ホール<br>〔利用時間〕２，０２３時間（２，２３５時間）<br>〔入場人員〕７２，７５６人（８０，０９７人）<br>小ホール<br>〔利用時間〕２，４８２時間（２，６２３時間）<br>〔入場人員〕２９，７３９人（３１，９１５人）<br>小会議室<br>〔利用時間〕２，２６８時間（２，２２８時間）<br>〔入場人員〕２，８９２人　（２，９６６人）<br>和　　室<br>〔利用時間〕３，３８６時間（３，６５３時間）<br>〔入場人員〕３，０１２人　（３，３３２人）<br>リハーサル室<br>〔利用時間〕１，３２０時間（１，４７０時間）<br>〔入場人員〕５，９２８人　（６，７７０人）<br>全施設合計<br>〔利用時間〕１１，４７９時間（１２，２０９時間）<br>〔入場人員〕１１４，３２７人（１２５，０８０人）<br>使用料収入<br>　１１，７３７，０９２円（１４，１６７，１０９円）<br>※（　）は前年度実績 |
| ２　龍ケ崎市歴史民俗資料館 | |
| 実　績 | 〔開館日数〕３０８日（３０４日）<br>〔入館人員〕３１，６６４人（３０，５３６人）<br>〔多目的室使用時間〕<br>　７５６時間（５７８時間）<br>※（　）は前年度実績 |

**＜公益目的事業２　地域交流活性化事業＞**

**１　地域交流及びコミュニティの活性化に関する事業（第４条第４号関係）**

地域の自然や文化，人々との交流を楽しむ余暇活動（グリーン・ツーリズム）の場の提供及びレクリエーション事業等をとおして，教養及び文化の向上並びに地域住民の交流を図ることで地域の活性化に寄与した。

（１）体験教室

| １　味噌作り教室 | |
|---|---|
| 開 催 日 | ①２月２日（木）～５日（日）　②２月１６（木）～１９日（日）<br>③２月２３日（木）～２６日（日）　④３月２日（木）～５日（日）<br>⑤３月１６日（木）～１９日（日） |
| 開催場所 | 総合交流ターミナル　調理室・加工室 |
| 参加者数 | ①１０名　②１０名　③１０名　④１０名　⑤１０名　合計５０名 |
| 講　　師 | 職員 |

| | |
|---|---|
| 内　　容 | 伝統的な味噌つくりの手法を学び，農村生活の楽しさ・おいしさを感じとっていただいた。 |
| 2　手打ち蕎麦教室等 | |
| 開 催 日 | ①４月１７日（日）　②５月１５日（日）　③６月１８･１９日（土･日）<br>④７月１０日（日）　⑤８月７日（日）　⑥９月２５日（日）<br>⑦１０月２日（日）　⑧１１月２０日（日）⑨１２月４日（日）<br>⑩１月１５日（日）　⑪２月１２日（日）　⑫３月１２日（日）<br>※③は手打ちうどん教室 |
| 開催場所 | 総合交流ターミナル　調理室・会議室 |
| 参加鉢数 | ①１０鉢　②８鉢　③６鉢　④１０鉢　⑤８鉢　⑥７鉢　⑦３鉢<br>⑧１０鉢　⑨９鉢　⑩６鉢　⑪９鉢　⑫６鉢　合計９２鉢<br>※③は手打ちうどん教室 |
| 講　　師 | 有識者 |
| 内　　容 | 伝統的な手打ち蕎麦つくりなどの手法を学び，農村生活の楽しさ・おいしさを感じとっていただいた。 |
| 3　コンニャクつくり教室 | |
| 開 催 日 | １２月１８日（日）午前・午後の２回 |
| 開催場所 | 総合交流ターミナル　調理室・加工室 |
| 参加者数 | 午前：１５名　午後：１５名　合計３０名 |
| 講　　師 | 職員 |
| 内　　容 | 伝統的なコンニャクつくりの手法を学び，農村生活の楽しさ・おいしさを感じとっていただいた。 |
| 4　秋ジャガイモ掘り体験 | |
| 開 催 日 | １１月２０日（日） |
| 開催場所 | 農業公園豊作村の近隣農地 |
| 参加者数 | 約６０名 |
| 内　　容 | 収穫の楽しさ・喜びをとおして，農業に興味をもっていただいた。 |
| 5　麹づくり教室 | |
| 開 催 日 | １１月２３（水）～２６日（土） |
| 開催場所 | 総合交流ターミナル　調理室・加工室 |
| 参加者数 | ６名 |
| 内　　容 | 日本の伝統的な発酵食品を製造するときに用いる麹づくりの手法を学び，農村生活の楽しさを感じとっていただいた。 |
| 6　カブト虫捕り体験教室 | |
| 開 催 日 | ７月２３日（土） |
| 開催場所 | 農業公園豊作村内の林地 |
| 内　　容 | カブト虫捕りを体験してもらい，地域の自然に触れていただいた。<br>ビデオ上映会，昆虫の展示コーナーも実施。 |
| 7　家庭菜園講座 | |
| 開 催 日 | ①７月３０日（土）②３月２５日（土） |
| 開催場所 | 総合交流ターミナル　会議室 |
| 参加者数 | ①午前２１名　午後６名　②３０名　合計５７名 |
| 講　　師 | 有識者 |
| 内　　容 | 初心者でもわかるよう野菜の植付け，管理の方法について講座を開き農業に興味をもっていただいた。 |
| 8　季節の寄せ植え教室 | |
| 開 催 日 | １０月２５日（火）①午前②午後　③１２月１５日（木） |

| | |
|---|---|
| 開催場所 | 湯ったり館玄関前（雨天時，農業公園豊作村パオハウス内） |
| 参加者数 | 各回２５名　合計７５名 |
| 講　　師 | 職員 |
| 内　　容 | 財団で生産した季節の花苗を使用し，オリジナルの寄せ植え作品をつくり楽しむとともに，参加者が同じ目的を共有することで，会話も弾みふれあいの機会を提供することができた。 |
| ９　押し花教室 | |
| 開 催 日 | ①９月２７日（火）②１１月２９日（火） |
| 開催場所 | 湯ったり館　多目的室 |
| 参加者数 | ①７名　②４名　合計１１名 |
| 講　　師 | 有識者 |
| 内　　容 | 親しみやすい趣味として楽しめる押し花に興味をもっていただいた。 |
| 10　折り紙教室 | |
| 開 催 日 | ①１０月１８日（火）②１２月２０日（火）③２月２１日（火） |
| 開催場所 | 湯ったり館　多目的室 |
| 参加者数 | ①１２名　②１５名　③１５名　合計４２名 |
| 講　　師 | 日本折紙協会講師　齋藤裕子氏 |
| 内　　容 | 和紙を用いて日本の伝統工芸である折り紙で作品を作ることで，日本の伝統文化の良さを改めて見直す機会を提供することができた。また，参加者全員が同じ作品を制作することで，参加者同士が作り方を教えあうなど参加者同士の交流にもつながった。 |
| 11　囲碁将棋教室 | |
| 開 催 日 | 毎月第１・第３水曜日（第５水曜日） |
| 開催場所 | 湯ったり館　中広間 |
| 参加者数 | 年間２２回　延べ４６７名（１回平均　２１.２３名） |
| 講　　師 | 有識者 |
| 内　　容 | 毎回，囲碁の有段者を講師に迎え，初心者には囲碁将棋の楽しみ方伝授し，囲碁将棋を趣味としている利用者は，共通の趣味を通じて交流を深めた。この教室で腕を磨き，年に１度開催する「囲碁大会」には，多くの利用者が参加をした。 |

（２）地域交流事業等

| | |
|---|---|
| １　秋の収穫祭 | |
| 開 催 日 | １０月３０日（日） |
| 開催場所 | 農業公園豊作村 |
| 内　　容 | 農業者と都市型住民の交流の祭典の場として農業色の濃いイベントを開催した。<br>○農産物直売会　○さつまいも掘り体験　○第１６回かかしコンクール<br>○物産品の販売　○キャラクターショー　○遊具（ふわふわバルーン）類<br>○フリーマーケット等 |
| 来 園 者 | ３，５００名 |
| ２　たつのこマルシェ | |
| 開 催 日 | 毎月第２土曜日　※８月除く |
| 開催場所 | 龍ケ崎ニュータウンさんさん館 |
| 内　　容 | 龍ケ崎産の農産物や物産品のＰＲと販売を通し，地域産業振興を支援し地産地消を拡大する生産者と消費者をつなぐ交流の場の提供を行った。 |

| | |
|---|---|
| | ○４月スプリングフェア（イバライガー握手＆撮影会）　○５月きゅうりフェア（きゅうりのタイムセール）　○６月とうもろこしフェア（とうもろこしのタイムセール）　○７月新じゃがフェア（新じゃがいも詰め放題）　○９月新米フェア（コシヒカリすくいどり）　○１０月秋の味覚フェア（さつまいも袋詰め放題）　○１１月物産品フェア（芋甘なっとう詰め放題）　○１２月感謝フェア（たまごのつかみどり）　○１月初売りフェア（お汁粉サービス、抽選会）　○２月いちごフェア（いちごのタイムセール）　○３月トマトフェア（龍ケ崎トマトのタイムセール） |
| 来 場 者 | 延べ５，９００人 |
| ３　豊作村杯グラウンド・ゴルフ大会 | |
| 開 催 日 | ３月２９日（水） |
| 開催場所 | 豊作村農業ゾーンふれあい広場 |
| 参加者数 | ９８名 |
| 内　　容 | 豊作村農業ゾーンのふれあい広場を活用した地域長寿会などのグラウンド・ゴルフの交流大会豊作村杯を開催し，地域との交流を通して地域の活性化を図った。 |
| ４　湯ったり館囲碁大会 | |
| 開 催 日 | ３月５日（日） |
| 開催場所 | 湯ったり館　中広間 |
| 参加者数 | ３２名 |
| 内　　容 | 囲碁将棋教室を日頃の成果を発揮する機会と共通の趣味を持つ市民の交流を深め合う機会として開催。和やかな雰囲気ながらも参加者は，優勝目指して熱戦を繰り広げた。また，前年度課題となった対局数の多さを解消するため，上級者と初級者を分けて開催した。 |
| ５　湯ったり館ＣＵＰ少年少女サッカー大会（小学生対象）を通した交流事業 | |
| 開 催 日 | ①高学年の部　７月１０日（土）　②低学年の部　雨天のため中止 |
| 開催場所 | 豊作村交流ゾーン　運動広場 |
| 参加チーム数 | ①１０チーム |
| 内　　容 | 青少年の健全育成及び親子と地域との交流を目的に豊作村交流ゾーン運動広場において，龍ケ崎市サッカー連盟の協力のもと市内外のサッカースポーツ少年団の参加により大会を開催した。今回が５回目の大会で，稲敷市内のチームとしては初めて江戸崎ＳＳＳが参加をした。低学年の部は，３月２６日（日）開催予定であったが，雨天のため中止となった。また，湯ったり館ＣＵＰに関連した定期リーグ戦は計７回実施し，のべ３６チームが参加し，熱戦を繰り広げた。 |
| ６　利用者交流事業「うたいホーダイ　カラオケ湯ったり館」 | |
| 開 催 日 | ①１０月２８日（金）②１２月１６日(金)③２月２４日（金） |
| 開催場所 | 湯ったり館　レストラン花麗 |
| 参加者数 | のべ７名 |
| 内　　容 | 利用者に交流の場を提供する目的と施設の有効活用を併せて試行的に実施した。 |
| ７　ミニ写真展「あの日の龍ケ崎。」 | |
| 開 催 日 | 通年 |
| 開催場所 | 湯ったり館　大広間前 |
| 内　　容 | 郷土･龍ケ崎市を写真で振り返り，郷土に対する愛着を深める目的と市民同士の交流の活発化を図るためミニ展示を継続したが，“昭和の時代”の |

| | |
|---|---|
| | 龍ケ崎の様子を見た利用者同士が当時を懐かしむように会話をするなど大変好評であった。 |
| 9　落花生ボッチ作り体験 | |
| 開 催 日 | １０月１６日（日） |
| 開催場所 | 貝原塚町の畑 |
| 参加者数 | ６組 |
| 講　　師 | 落花生生産農家 |
| 内　　容 | 昔ながらの自然乾燥農法のボッチ作りをとおして，農業に興味をもっていただいた。 |
| 10　レンコン掘り体験教室 | |
| 開 催 日 | １０月２２日（土） |
| 開催場所 | 大徳町の蓮田 |
| 参加者数 | １０組 |
| 講　　師 | レンコン生産農家 |
| 内　　容 | 収穫の楽しさ・喜びをとおして，農業に興味をもっていただいた。 |
| 11　米粉ピザ体験教室 | |
| 開 催 日 | ①４月２４日（日）　②７月１７日（日） |
| 開催場所 | 総合交流ターミナル　調理室 |
| 参加者数 | ①９名　②１２名 |
| 講　　師 | 水稲生産農家 |
| 内　　容 | お米の魅力を伝える教室を通じて，生産農家との交流を楽しんでいただいた。 |
| 12　デコ巻き寿司体験教室 | |
| 開 催 日 | ①１０月９日（日）②１１月１２日（土）③１月２２日（日）<br>④３月２０日（月） |
| 開催場所 | 総合交流ターミナル　調理室 |
| 参加者数 | ①　６組　②２組　③６組　④５組 |
| 講　　師 | 水稲生産農家 |
| 内　　容 | お米の魅力を伝える教室を通じて，生産農家との交流を楽しんでいただいた。 |

## ２　公共施設等を活用したまちづくりの推進に関する事業（第４条第６号関係）

農業公園豊作村及び龍ケ岡市民農園の管理運営は，「市民間の交流を深め地域において自然，文化，人々との交流を図ること」を目的とするため，各種体験教室，イベント等を通して余暇活動を促進し，都市と農村の交流及び新旧住民の交流等を推進した。

| | |
|---|---|
| 1　龍ケ崎市農業公園豊作村（総合交流ターミナル及びレンタルファーム） | |
| 実　績 | レンタルファーム<br>〔貸出区画〕　１０８／１３４区画（１１０／１３４区画）<br>総合交流ターミナル<br>〔会 議 室〕　５３３時間（７２６時間）<br>〔調 理 室〕　１４４時間（１２２時間）<br>野菜・花苗生産，販売等<br>〔販売金額〕　７，１５５千円（６，６０８千円）<br>※（　）は前年度実績 |
| 2　龍ケ崎市農業公園豊作村（湯ったり館及び運動広場） | |

| | |
|---|---|
| 実　績 | 日帰り入浴<br>〔入 館 者〕１６６，５７５人（１９４，９０４人）<br>宿　　泊<br>〔一　　般〕１，３７６人（１，４１９人）<br>〔合　　宿〕１，７２４人（１，７９６人）<br>運動広場<br>〔貸　　出〕４６６時間（５６３時間）<br>館内運営<br>〔飲食部門〕４３，７０５千円（４７，４７３千円）<br>〔ボディケア〕　９，８９２千円（１２，８８９千円）<br>※（　）は前年度実績 |
| ３　龍ケ崎市龍ケ岡市民農園 | |
| 実　績 | レンタルファーム<br>〔貸出区画〕　１０８／１０８区画（１０７／１０８区画）<br>※（　）は前年度実績 |

**＜公益目的事業３　地域振興活性化事業＞**

**１　農業及び地域産業の振興に関する事業（第４条第５号関係）**

当市の農業は高齢化・兼業化が進み担い手不足が深刻な問題となっており，担い手農家が安定的に農業経営を行えるよう各種講習会の開催，補助事業の窓口業務を行うことで農業行政の基幹となる担い手農家の育成を図った。

また，地元物産品・農産物ＰＲのアンテナショップとして湯ったり館及び龍ケ崎市観光物産センターを活用し販売促進を図ることで地域産業等の振興に寄与した。

| | |
|---|---|
| １　担い手農家の育成 | |
| 内　　容 | 農地の流動化により規模拡大を進める担い手農家を育成するため，関係機関との協調体制による研修会の開催を行った。<br>農業研修会の開催：１２月１６日<br>①南米ボリビア農業について<br>②農地中間管理事業における事務取扱いについて<br>農業研修会の開催：３月２３日<br>平成２９年度経営所得安定対策について |
| ２　農業ヘルパー制度 | |
| 内　　容 | 龍ケ崎市における農業者の労働力不足を補うとともに，市民に雇用機会や農業に触れる機会を提供し，農業者の経営改善と農業振興を図った。<br>農業者　５件　　市民　５件 |
| ３　地元物産品・農産物のＰＲ | |
| 内　　容 | 年間約２０万人の利用がある湯ったり館において，地元物産品（龍ケ崎市観光物産協会）及び地元農産物（ＪＡ竜ケ崎）を販売することにより，地産地消の促進並びに地元物産品ＰＲのアンテナショップとして，地域産業の振興を図った。<br>〔地元物産品〕３，７７７千円（３，９２１千円）<br>〔地元農産物〕２，４２６千円（２，４１１千円）<br>※（　）は前年度実績 |
| ４　龍ケ崎市観光物産センター（佐貫駅関鉄駅ビルⅡ１階）の管理運営 | |

| | |
|---|---|
| 内　　容 | 龍ケ崎市と連携し地域産業振興等を支援することで，まちづくりの一翼を担い地域振興の推進を図った。<br>〔来館者〕　６，１４６人　（６，３４２人）<br>〔販売額〕　３，３１９千円（３，１６８千円）<br>※（　）は前年度実績 |

## ２　農地利用集積及び農作業受委託推進に関する事業（第４条第８号関係）

（１）農地利用集積円滑化事業

農業経営基盤強化促進法第６条第１項の規定に基づき龍ケ崎市において作成された農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（基本構想）に即し，効率的かつ安定的に農業を営む者に対して農用地利用の集積・集約化を図った。

| | |
|---|---|
| １　農地所有者代理事業 | |
| 内　　容 | 農地利用集積円滑化団体（当財団）が，農地所有者から委任を受けて，所有者を代理して農地の貸付けを行った。<br>［件数］　―　件　［面積］　― |
| ２　農地売買等事業 | |
| 内　　容 | 農地利用集積円滑化団体（当財団）が，農地を借受けて（中間保有），貸付けを行った。<br>［件数］　６件　［面積］　２．６ｈａ |

（２）旧農地保有合理化事業

農地法等の一部改正法施行前における農地保有合理化事業により中間保有している農用地については貸借期間が満了するまで適正に管理を行った。

（３）農地中間管理事業

農地中間管理機構（公益社団法人茨城県農林振興公社）が実施している農地中間管理事業の相談窓口などの業務委託を受け，農地利用の集積・集約化を行い，農地の有効利用や農業経営の効率化を図った。

［件数］　１４５件　［面積］　６４．９ｈａ

（４）農作業受委託事業

当財団主導の下，受託組織を整備し農作業の受委託斡旋を促進することで中核農家の育成を図った。

| | |
|---|---|
| 内　　容 | 農作業受託希望者を当財団に登録のうえ受託組織（龍ケ崎市農作業受託組合）として整備し，当財団が農作業受委託斡旋の窓口業務を行い農作業の受委託を集約し，農作業を受託組織に再委託することで農業機械の利用効率化，中核農家の育成を図った。<br>○農作業受委託実績<br>①畦塗り：２件　６７６ｍ　②育苗：１件　１５０箱<br>③代かき：１件　３３ａ　④刈取～調整：４件　５３６ａ<br>⑤耕起～刈取・調整：１件　１５ａ<br>○龍ケ崎市農作業受託組合<br>臨時総会の開催：１２月１６日　定例総会の開催：３月２３日<br>○先進地事例研修会の開催：１１月１６日・１７日<br>株式会社永井農場：中山間地における地域と共生した大規模で高度な複合経営の実現について（平成２３年度天皇杯受賞） |

## ＜収益事業１　不動産事業＞

### １　まちづくりに必要な用地の取得，造成，管理，処分及び斡旋並びに建築物の取得，建設，管理及び処分（第４条第７号関係）

まちづくりに必要な用地の確保及び管理等を行うにあたり，市内の土地資源等の総合開発利用を促進し，利活用できる所有地の資産運用を図った。また，龍ケ崎市及び流通経済大学へ引き続き貸付けを行い，駐車場事業において利用している土地について，利用率等の低下により土地処分を行った。

（１）土地貸付事業

| | 所在地及び区分種別 | 面積㎡ | 期間満了 |
|---|---|---|---|
| 1 | 龍ケ崎市上町 4110　外７筆<br>市商工観光課（まいん敷地，にぎわい広場） | 2,901 | 単年度 |
| 2 | 龍ケ崎市馴馬町字牛北毛 3222 外 14 筆<br>市施設整備課（資材置場） | 5,809 | 単年度 |
| 3 | 龍ケ崎市高須町堤外 4025-1<br>市社会福祉課（ディスクゴルフ場） | 3,615 | 単年度 |
| 4 | 龍ケ崎市羽原町央台 1123-6 外２筆<br>流通経済大学（運動場） | 7,304 | H30 年度 |
| 合　　計 | | 19,629 | |

（２）駐車場事業

| 区分（種別） | 所　在　地 | 面積(㎡) | 利用実績<br>台数(台) | 売上実績<br>金額(円) |
|---|---|---|---|---|
| 佐貫駅西口駐車場 | 龍ケ崎市佐貫町 482-6 外 | 137 | 36 | 195,000 |
| 佐貫駅東駐車場 | 龍ケ崎市佐貫 2-13-9 | 620 | 305 | 1,500,790 |
| 佐貫駅南口駐車場（月極） | 龍ケ崎市佐貫町 715-16 外 | 1,826 | 572 | 4,287,510 |
| 佐貫駅南口駐車場（時間） | 龍ケ崎市佐貫町 715-16 外 | | 5,051 | 3,023,400 |
| 佐貫駐車場 | 龍ケ崎市佐貫 3-19-7 外 | 2,441 | 649 | 2,467,501 |
| 佐貫駅北第１駐車場 | 龍ケ崎市佐貫 4-17-1 | 470 | 156 | 468,000 |
| 佐貫駅北第２駐車場 | 龍ケ崎市佐貫 4-17-15 外 | 278 | 96 | 270,000 |
| 奈戸岡駐車場 | 龍ケ崎市 2-147 | 612 | 73 | 183,172 |
| 合　計 | | 6,384 | 6,938 | 12,395,373 |

（３）財団所有土地一覧

| | 所　　在　　地 | 地　目 | 面積㎡ | 取得年月 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 佐貫2丁目13-9 | 宅　地 | 620 | S 45．4 | 佐貫駅東駐車場 |
| 2 | 佐貫3丁目19-7 | 宅　地 | 641 | S 45．4 | 佐貫駐車場 |
| 3 | 佐貫3丁目19-8 | 宅　地 | 1,800 | S 45．4 | 佐貫駐車場 |
| 4 | 佐貫4丁目17-1 | 宅　地 | 470 | S 45．4 | 佐貫駅北第１駐車場 |
| 5 | 佐貫4丁目17-14 外1筆 | 宅　地 | 278 | S 45．4 | 佐貫駅北第２駐車場 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 奈戸岡2-147 | 宅　地 | 612 | S55.10 | 奈戸岡駐車場 |
| 7 | 馴馬町牛北毛3221外14筆 | 雑種地 | 5,809 | H元.12 | 市施設整備課資材置場 |
| 8 | 高須町堤外4025-1 | 公　園 | 3,615 | H 9. 5 | 市社会福祉課(ディスクゴルフ場用地) |
| 9 | 上町4110 外4筆 | 宅　地 | 1,894 | H11. 6 | 「にぎわい広場」貸付用地 |
| 10 | 上町4264-1 外2筆 | 宅　地 | 1,007 | H11. 5 | 「まいん」貸付用地 |
| 11 | 立野5056-3 外2筆 | 宅　地 | 463 | H 3. 6 | 県道姫宮川余郷線代替用地 |
| 12 | 大徳町上大徳159-4 | 畑 | 1,663 | H 3. 7 | 市施設整備課短期資材置場 |
| 13 | 野原1109 外2筆 | 雑種地 | 1,981 | H 4. 9 | 市施設整備課短期資材置場 |
| 14 | 羽原町央台1123-6 外2筆 | 山　林 | 7,304 | S61. 7 | 流通経済大学貸付用地 |
| 15 | 佐貫町大宿沼715-16 | 雑種地 | 960 | H14. 5 | 佐貫駅南口駐車場 |
| 16 | 佐貫町大宿沼717-5外2筆 | 宅　地 | 866 | H16. 3 | 佐貫駅南口駐車場 |
| | 合　　計 | | 29,983 | | |

**＜収益事業２　公益目的外貸与事業等＞**

**１　その他この法人の目的を達成するために必要な事業（第４条第９号関係）**

龍ケ崎市の指定管理者として龍ケ崎市文化会館，龍ケ崎市歴史民俗資料館，龍ケ崎市農業公園豊作村（総合交流ターミナル，湯ったり館），龍ケ崎市龍ケ岡市民農園を管理運営しているが，不特定多数の者が広く様々な情報を得て公益目的事業が推進されるよう，企業や営利団体等へも施設を貸与した。また，利用者の利便性を考慮し，清涼飲料水等の自動販売機を設置した。

**◆法人管理状況の内容◆**

（１）理事会

| 回　数 | 開催日及び場所 | 審　議　内　容　等 | 結果 |
|---|---|---|---|
| 第１回 | 【開催年月日】<br>平成 28 年 5 月 26 日<br>【場所】<br>豊作村総合交流ターミナル | 【決議事項】<br>1. 平成27年度事業報告及び決算の承認について<br>2. 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について<br>【報告事項】<br>1. 専決処分の報告について<br>2. 職務執行状況の報告について<br>【出席等】<br>決議に必要な出席理事の数　５名<br>出席者　７名，欠席者　１名<br>監事出席者　２名 | 可決<br>可決<br>報告<br>報告 |
| 第２回 | 平成 28 年 6 月 29 日 | ・決議の省略<br>【決議事項】<br>1 平成 28 年度事業計画（公益目的事業 1 文化推進事業及び公益目的事業 2　地域交流活性化事業）の追加の件<br>2 補正予算の件 | 同意<br>同意 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第３回 | 平成 28 年 10 月 29 日 | ・決議の省略<br>【決議事項】<br>1 平成 28 年度事業計画（公益目的事業 1 文化推進事業及び管理部門）の追加の件<br>2 補正予算の件 | <br><br>同意<br><br>同意 |
| 【報告の省略】<br>平成 28 年 11 月 22 日 | | 【報告事項】<br>1. 補正予算の件<br>2. 職員に対する懲戒等の処分について | <br>報告<br>報告 |
| 第４回 | 【開催年月日】<br>平成 29 年 3 月 24 日<br>【場所】<br>豊作村総合交流ターミナル | 【決議事項】<br>1. 公益財団法人龍ケ崎市まちづくり・文化財団組織規程の一部を改正する規程について<br>2. 平成 29 年度公益財団法人龍ケ崎市まちづくり・文化財団事業計画について<br>3. 平成 29 年度公益財団法人龍ケ崎市まちづくり・文化財団収支予算について<br>【報告事項】<br>1. 職務執行状況の報告について<br>【出席等】<br>決議に必要な出席理事の数　５名<br>出席者　８名，欠席者　０名<br>監事出席者　１名，欠席者　１名 | <br>可決<br><br>可決<br><br>可決<br><br>報告 |

（２）評議員会

| 回数 | 開催日及び場所 | 審　議　内　容 | 結果 |
|---|---|---|---|
| 第１回 | 【開催年月日】<br>平成 28 年 6 月 17 日<br>【場所】<br>豊作村総合交流ターミナル | 【決議事項】<br>1. 議事録署名人の選出について<br>2. 平成27年度事業報告及び決算の承認について<br>【報告事項】<br>1. 平成 28 年度事業計画及び予算について<br>【出席等】<br>決議に必要な出席評議員の数　５名<br>出席者　５名，欠席者　３名<br>理事出席者　２名（副理事長，常務理事）<br>監事出席者　２名 | <br>選任<br>可決<br><br>報告 |

（３）決算監査

| 開催日及び場所 | 監　査　内　容 |
|---|---|
| 【開催年月日】<br>平成 28 年 5 月 10 日<br>【場所】<br>豊作村総合交流ターミナル | 平成２８年度公益財団法人龍ケ崎市まちづくり・文化財団の財務諸表及業務執行状況，関係帳簿及び証書類の監査 |

（４）行政庁（茨城県）への届出

| 届出年月日 | 届　出　内　容 |
|---|---|
| 平成 28 年 6 月 21 日 | 事業報告等の提出（定期提出書類） |
| 平成 29 年 3 月 30 日 | 事業計画書等の提出（定期提出書類） |

（５）その他

公共用地取得に係る用地買収業務（交渉業務等）を龍ケ崎市より受託した。

◆事業報告の附属明細書◆

平成２８度事業報告には,「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。